地域でつくる「ささえあいのしくみ」

- RESASを用いた分析から見えた地域創生の路 -

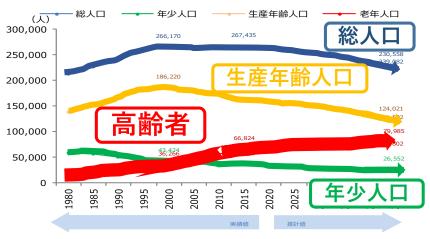
対象地域:兵庫県加古川市(平岡町)

【RESASで地域調査】

ー 私たちの学校がある加古川市の 人口と産業

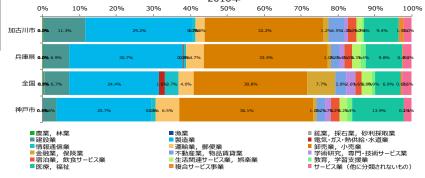


①人口推移(加古川市)



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」 【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計値。

②企業の売上高構成比



【出典】総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工

人口推移から見えたこと

- ☑ 総人口減少
 - (生産年齢人口・年少人口減少)
- ☑ 高齢者数増加(地域高齢化)
 - → 加古川市にも高齢化の傾向 将来どうなるか不安

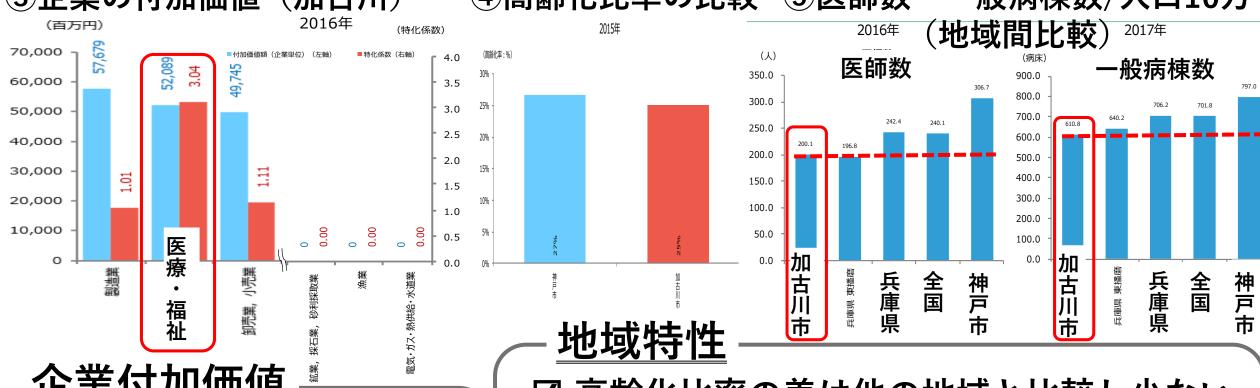
全国構成比との比較

図 加古川市は全国比より、 医療・福祉分野多い傾向

企業と医療 【RESASで地域調査】 - 私たちの学校がある加古川市の



4高齢化比率の比較 ⑤医師数・一般病棟数/人口10万



企業付加価値

医療・福祉の付加価値が 極めて高い地域

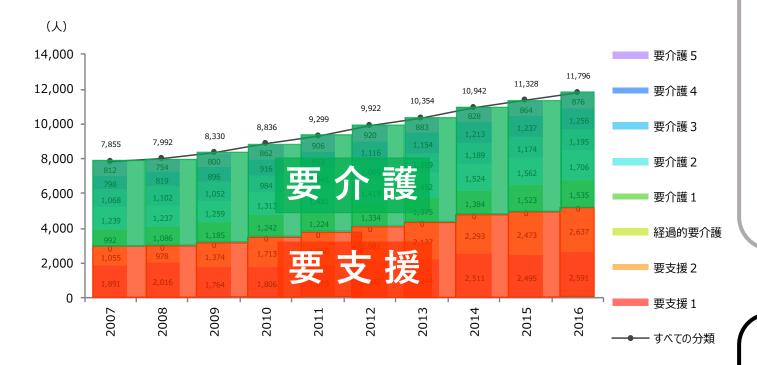
☑ 高齢化比率の差は他の地域と比較し少ない

図 加古川市は全国・県内・他の地域と比較し 医師・一般病棟数少ない

兵庫県立農業高等学校 園芸研究会(仮)高齢化対策チーム 園芸科

【RESASで地域調査】 - 私たちの学校がある加古川市の 要介護者数 -

⑥要介護者認定者数推移(加古川市)



【出典】厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」

【注記】要介護(要支援)認定者数とは、介護保険における要介護認定制度に基づき介護サービスの利用が必要であると認定された者。 要介護認定制度及び要支援・要介護度(要支援 1 ~要介護 5)の区分については、下記URLを参照のこと。 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi kaigo/kaigo koureisha/nintei/index.html

医療・福祉分野を分析

図要介護・支援者の総数 が増加傾向

回特に要支援者が増加



☑要支援者が要介護者に シフトするリスク有り 【研究論文で高齢者調査】 - 老年学・高齢者福祉と心理・認知症のリスク -

【<u>老年学(gerontology)</u>】… 生涯をより良く生きるための方法を追究

【高齢者福祉と心理 (進藤.2010) 】
図高齢者福祉サービスでは「人をつなぐ」ことが重要 QOL (タオリティ・オブ・ライフ) 向上 国集団 (高齢者同士) の関わり = 肯定的な体験 「人と関わり認知症予防」 図高齢者と若者がつながる = 体験や価値の「継承」 39万8,674円

【認知症の発症と介護費用(牧迫.2016)】

図認知症発症の特性 年齢とともに発症リスク増大 日常的な活動性が低い ☑介護保険サービス請求額

認知症診断者 : 平均99万4,430円

大きな負担

認知症非診断者 : 平均59万5,756円

高齢者のQOL(生活の質)向上=本人・家族・地域に良い影響

兵庫県立農業高等学校 園芸科 園芸研究会(仮)高齢化対策チーム

【RESASで地域調査】 – 私たちの学校がある加古川市の 現状と課題

- 【RESASで見えた加古川市の現状】
- ① 人口推移
 - → 地域高齢化が進んでいる
- ② 産業特性
 - 医療・福祉分野の価値高い
- ③ 人口10万人あたり医師数
 - 一般病棟数(地域間比較)
 - ▶ 医師・一般病棟数少ない
- 4 要介護者認定者数推移
 - 東介護者・要支援者増加

-【私たちの加古川市の課題】-

- 図 高齢化対策
- ①高齢者・地域を元気に 要介護・支援者数の抑制
- ②魅力ある地域づくり 地域と連携した活動

高齢者のQOL向上!! ささえあう地域に!!

ー 私たちのできることを 探求 ー

高齢化対策チーム

兵庫県立農業高校 園芸科

老人保健施設



大学 • 研究機関





高齢者や家族が自分らしい 暮らしや人生を送る



高校生による高齢化対策プログラム



高齢者に効果的な プログラムの開発



地域への普及

生物活用

プログラムの条件

- 精神・身体機能維持・認知症予防
- 地域での普及が可能な活動

農業の学びを活かした

園芸療法的活動

兵庫県立農業高等学校 園芸科

園芸研究会(仮)高齢化対策チーム

【高齢化対策チーム活動】 - 私たちのできることに 挑戦 -

園芸療法的活動

- ☑ 対象者を選ばない(誰でもできる)
- ☑ 介護者・介護費・家族負担軽減へ









切り花栽培・活用

花苗栽培・活用

フラワーアレンジ

花の寄せ植え

ー 私たちのできることに 挑戦 ー 【高齢化対策チーム活動】

🌱 研究経過の検証 🜱

|プログラム構築①

プログラム構築



初期診断・園芸療法 プログラム構築

|プログラム構築②

プログラム実施



園芸療法的活動 プログラム実施

プログラム構築③

プログラム検証



AHTAS·作業記録 外部(専門家)評価 プログラム検証

高齢者の心身に良い 高い指導性・安全性

【検証項目】

☑科学的に数値化

☑安全・指導性

☑地域普及可否



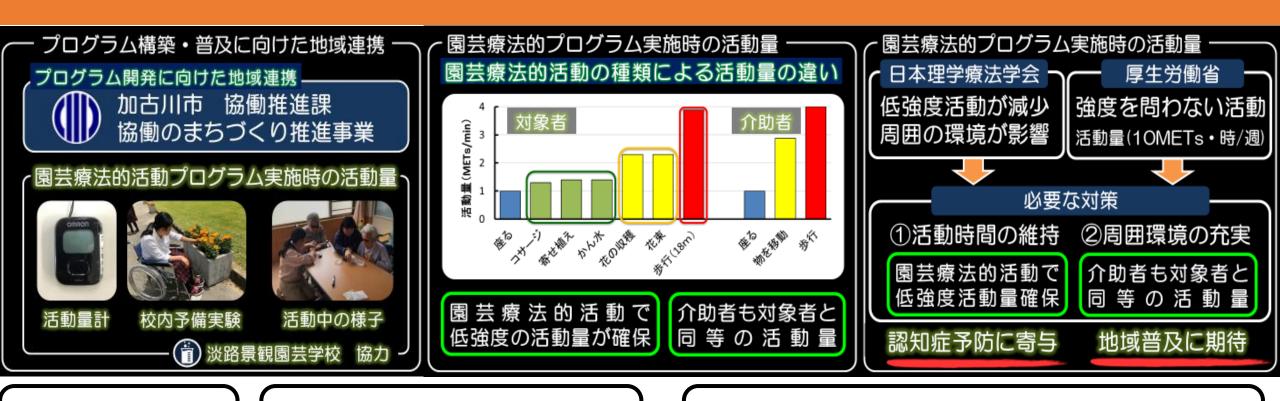
【専門家による効果検証】





高齢者に効果・普及期待

【高齢化対策チーム活動】 - 私たちのできることに 挑戦 -



行政支援

大学・地域連携

心身の健康・認知症予防

活動量測定・考察

心身の健康・認知症予防・地域普及

兵庫県立農業高等学校 園芸科 園芸研究会(仮)高齢化対策チーム

【高齢化対策チーム活動】 - 私たちにできることを 証明 -



【RESASによる分析】

- ①高齢者・地域を元気に 要介護・要支援者数抑制
- ②魅力ある地域づくり 地域と連携した活動

【地域課題への取り組み成果】

- ☑ 行政・大学・地域と連携
- 図 要介護・要支援者数抑制プログラム構築 高齢者・地域住民の健康促進効果に期待

【魅力ある地域づくり推進】 地域でつくる 「ささえあいのしくみ」

☑ 地域老人保健施設にて プログラム普及を開始

- 私たちと地域の力で地方創生 -【高齢化対策チーム活動】



【かこがわプラス】 取材【日本農業新聞】



取り組みを多くの人が評価

【兵庫県高等学校教育研究会農水産部会研究大会

【兵庫県花き生産者大会】

【兵庫県・近畿学校農業クラブ連盟大会 最優秀賞】

- 私たちと地域の力で地方創生 -





☑ 地域包括ケアシステム

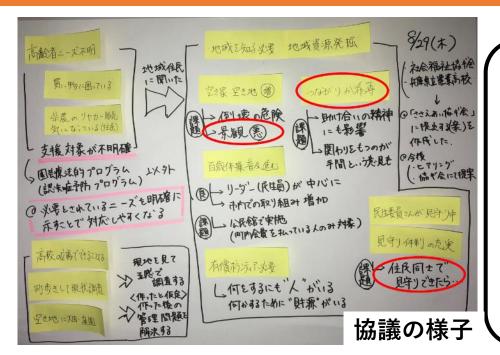
高齢者の日常生活圏内で、 生活支援サービスシステム

☑ 2019年~2025年

ささえあい協議会に県農高が委員として参加。 地域創生を目指し、園芸療法的プログラムを有効活用。 地域の魅力・ニーズを地元住民と発掘。

- る取り組み C 9。 兵庫県立農業高等学校 高齢化対策チーム 袁

【高齢化対策チーム活動】 - 私たちと地域で探究 -



【地域の要望】

- ☑ 園芸療法的プログラム継続
- 図 景観維持・住民同士の見守り 地域で子ども・高齢者見守る
 - <u>フラワーロード計画</u>

【フラワーロード実施計画】

- ☑ 家庭・通学路に花を設置
- 図 園芸療法的プログラムを利用
- 図 花の管理で高齢者の活動量確保

【実施に向けた課題】

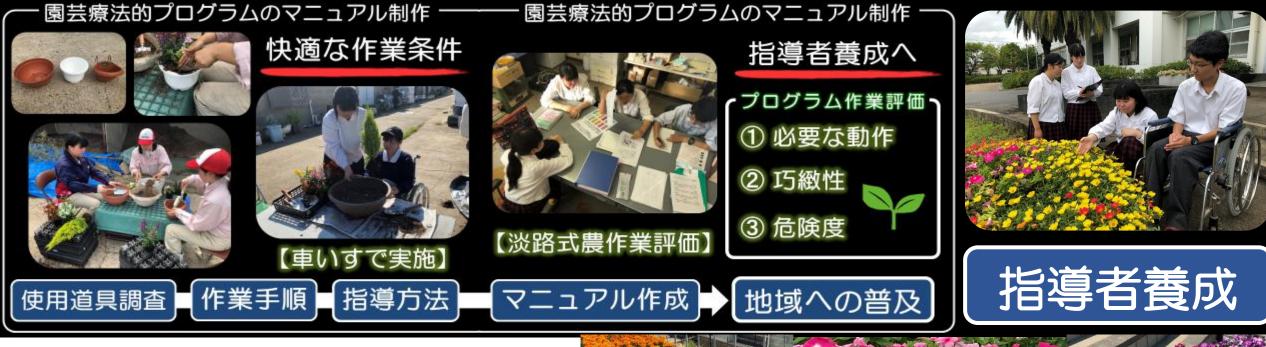
- ①地域指導者養成
- ②資材・費用調達

実施するために

話し合い

【高齢化対策チーム活動】 - 私たちと 地域で探究 -

【課題① 地域指導者養成】 🛭 福祉の視点を取り入れたマニュアル作成



【課題② 資材調達】

☑ 農業高校や花農家の生産物



兵庫県立農業高等学校 園芸科 園芸研究会(仮)高齢化対策チーム

- 私たちと 地域で探究 -

【課題② 費用確保】

☑ 行政支援(まちづくり推進事業)

☑ プログラム参加者が作品を作成 地域イベントで販売

農業高校で発生する

一番花数 1200本



カーネーション

【母の日にイベント販売】

<u>売上 1,000円×60個=60,000円</u>

費用 かご100円×60個=6,000円 スポンジ36円×60個=2,160円

フィルム1枚33円×60個=1,980円



- 私たちと地域の力で地方創生 -

フラワーロード (地域見守り)

花農家・農業高校 (花生産)

地域高齢者・住民 (販売物製作)

企業・大学・加古川市 (地域イベント・販売)

農業高校・地域住民 (プログラム普及・提案) ☑ 通学時の児童・生徒を見守る ☑ 見守る高齢者を地域が見守る

☑ 花需要up

☑ 地域貢献

☑ 人とのつながり

☑ 認知症予防

☑ やりがい

☑ 地域のつながり

☑ 地域活性化

図 地域の魅力発信

☑ 地域貢献活動

☑ 地域資源を発掘

☑ 地域資源としての学校教育

- 私たちと地域の力で地方創生 -



取り組みを通して

- ☑ 地方創生は地域資源の活用が重要
- ☑ 行動することで課題が見つかる
- ☑ 出会う人に感謝「人」をつなげる

「人」と「人」がつながり支え合う 安心して暮らせる地域づくりへ